

計 算 書 類

(第 24 期)

自 平成 22年 4月 1日

至 平成 23年 3月 31日

コ マ ツ ク イ ッ ク 株 式 会 社

神奈川県横浜市神奈川区神奈川2-16-15 イワサビル4階

損益計算書

(金額単位：千円)

科 目	第24期	
	自：平成22年 4月 1日 至：平成23年 3月31日	
売上高		30,473,647
売上原価		27,381,218
売上総利益		3,092,428
販売費及び一般管理費		2,366,644
営業利益		725,784
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,308	
雑益	9,468	
為替差益	4,525	16,302
営業外費用		
支払利息	21,632	
貸倒引当金繰入	1,286	
雑損	666	23,585
経常利益		718,501
特別利益		
受取保険金	2,677	2,677
特別損失		
固定資産売却損	2,233	
固定資産廃却損	371	2,604
税引前当期純利益		718,573
法人税、住民税及び事業税	3,555	3,555
当期純利益		715,018

株主資本等変動計算書

自:平成22年4月 1日
至:平成23年3月31日

(単位:千円)

項目	株主資本							株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金		その他利益剰余金				
					別途積立金	繰越利益剰余金			
前期末残高	290,000	256,000	152,355	63,563	4,000	▲ 2,849,516	▲ 2,083,597	▲ 2,083,597	
当期変動額	剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-	-
	当期純利益	-	-	-	-	-	715,018	715,018	715,018
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	715,018	715,018	715,018
当期末残高	290,000	256,000	152,355	63,563	4,000	▲ 2,134,498	▲ 1,368,579	▲ 1,368,579	

個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品…………… 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物付属設備を除く)については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	3 ～ 30 年
構築物	10 ～ 40 年
機械装置	8 ～ 17 年
車輛運搬具	4 ～ 6 年
工具器具備品	3 ～ 20 年

②無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)による定額法を採用しております。

(3) リース取引の処理方法

リース取引開始日が、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)の適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(4) 引当金の計上基準

- ①貸倒引当金…………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ②賞与引当金…………… 従業員に対する賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち、当事業年度末までに負担すべき額を計上しております。
- ③退職給付引当金…………… 従業員の退職給付に備えるため、簡便法に基づき、期末要支給額を退職給付引当金として計上しております。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	453,671 千円
(2) 関係会社に対する金銭債権債務	
短期金銭債務	3,640,409 千円

3. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高

仕入高	4,757,008 千円
受取利息	2,307 千円
支払利息	21,632 千円

- (2) 期末棚卸高は収益性の低下に基づく簿価切下げ後の金額(洗替法)であり、棚卸資産評価損▲23,007千円が売上原価に含まれております。

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度(自平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(1) 発行済株式の種類および総数に関する事項

発行済株式の種類	前事業年度末 株式数(株)	当事業年度 増加株式数(株)	当事業年度 減少株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
普通株式	1,770株	—	—	1,770株
合計	1,770株	—	—	1,770株

(2) 配当に関する事項

①配当金支払額

該当はありません。

②基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

該当はありません。

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

貸倒引当金	567 千円
賞与引当金	22,769 千円
棚卸資産評価損	35,288 千円
棚卸資産受注損	12,226 千円
退職給付引当金	4,027 千円
繰越欠損金	1,258,455 千円
その他	7,691 千円
繰延税金資産 計	1,341,023 千円
評価性引当額	▲ 1,341,023 千円
合計	— 千円

繰延税金資産純額 — 千円

6. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産の他、車両運搬具及び工具器具備品については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

7. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、コマツCMSより資金を調達しており、売掛金に係る顧客の信用リスクは、決定権限規程に沿ってリスク低減を図っております。

また、借入金の使途は運転資金(主として短期)であり、デリバティブ取引は行っておりません。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
① 現金及び預金	1,341	1,341	—
② 売掛金	650,673	650,673	—
③ 買掛金	(3,454,699)	(3,454,699)	—
④ 短期借入金	(1,440,710)	(1,440,710)	—
⑤ 未払金	(318,195)	(318,195)	—
⑥ 前受金	(829,182)	(829,182)	—

(*) 負債計上されているものについては、()で表示しております。

(注) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

① 現金及び預金、並びに②売掛金

これらは短期で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

③ 買掛金、④短期借入金、⑤未払金、並びに⑥前受金

これらは短期で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

8. 関連当事者との取引に関する注記

(1)親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
			役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	㈱小松製作所	被所有 直接 88% 間接 12%	兼任 1名	商品の仕入	商品の仕入(注)1,2	4,757,008	買掛金	2,154,984
					資金の借入(注)3	4,847,877	短期借入金	1,440,710

- (注) 1. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高には消費税等を含めて表示しております。
 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等
 商品の仕入価格等の取引条件については、市場実勢を勘案し協議の上で決定しております。
 3. 貸付・借入金利は市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
 なお、取引が反復的に行われている為、取引金額は期中の平均残高を記載しております。

(2)兄弟会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
			役員の兼任等	事業上の関係				
親会社の子会社	コマツ建機販売㈱	5%	兼任 1名	商品の仕入	商品の仕入(注)1,2	7,481,288	買掛金	590,802
				商品の販売	商品の販売(注)1,2	2,133,756	売掛金	107,095
親会社の子会社	コマツレンタル㈱	—	兼任 1名	商品の仕入	商品の仕入等(注)1,2	7,979,602	未払金	151,988

- (注) 1. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高には消費税等を含めて表示しております。
 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等
 商品の販売価格、仕入価格等の取引条件については、市場実勢を勘案し協議の上で決定しております。

9. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	▲773,208円69銭
1株当たり当期純利益	403,965円 5銭

10. 企業結合に関する注記

(1)当社によるケイ・アイ・マシン株式会社の吸収合併

当社と当社の完全子会社である ケイ・アイ・マシン株式会社は、平成22年1月27日に締結した合併契約書に基づき、平成22年4月1日付けで合併いたしました。

①結合当事企業の名称、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

イ. 結合当事企業の名称

	名称	事業内容
結合企業	コマツクイック株式会社	建設機械等の中古車販売
被結合企業	ケイ・アイ・マシン株式会社	産業機械等の中古販売

ロ. 企業結合の法的形式及び結合後企業の名称

当社を存続会社、ケイ・アイ・マシン株式会社を消滅会社とする共通支配下における吸収合併であり、結合後企業の名称はコマツクイック株式会社であります。

ハ. 取引の目的を含む取引の概要

建機事業で確立している循環ビジネスを、産機事業において構築することが目的であります。

②実施した会計処理の概要

上記取引は、「企業結合に係る会計基準」に定める共通支配下の取引等に該当いたします。

当社が吸収合併消滅会社から受け入れた資産と負債の差額のうち株主資本の額と、当社が合併直前に保有していた吸収合併消滅会社株式の帳簿価額との差額である 69,933千円は、平成22年3月期決算において、「子会社株式評価損」として特別損失に計上しております。

③本吸収合併の相手会社であるケイ・アイ・マシン株式会社の最近事業年度(平成22年3月期)の財政状態及び経営成績は以下の通りであります。

資産合計	109,479 千円
負債合計	179,412 千円
純資産合計	▲ 69,933 千円
売上高	631,660 千円
経常利益	▲ 64,485 千円
当期純利益	▲ 45,244 千円

11. その他の注記

(1)金額の端数処理に関する注記

金額はすべて表示単位未満を切り捨て表示しております。